

道	路	部
記	者	発
表		

扱い：配布後解禁

令和8年10月20日

北陸初！ロードキルデータベースを活用した データ駆動型ロードキル対策を実施

国土交通省では、令和7年度にロードキル情報を集約した「ロードキルデータベース※1」を構築し、本データベースを活用したデータ駆動型ロードキル対策※2の全国展開を進めています。

北陸地方整備局においても本データベースを活用した分析を実施し、国道49号のロードキル多発区間にて「車が動物を回避するドライバーからのアプローチ」でのロードキル対策を実施しましたのでお知らせします。

なお、ロードキル対策は、令和7年4月の道路法改正に基づき北陸地方整備局で策定した「道路脱炭素化推進計画」に位置付けられています。

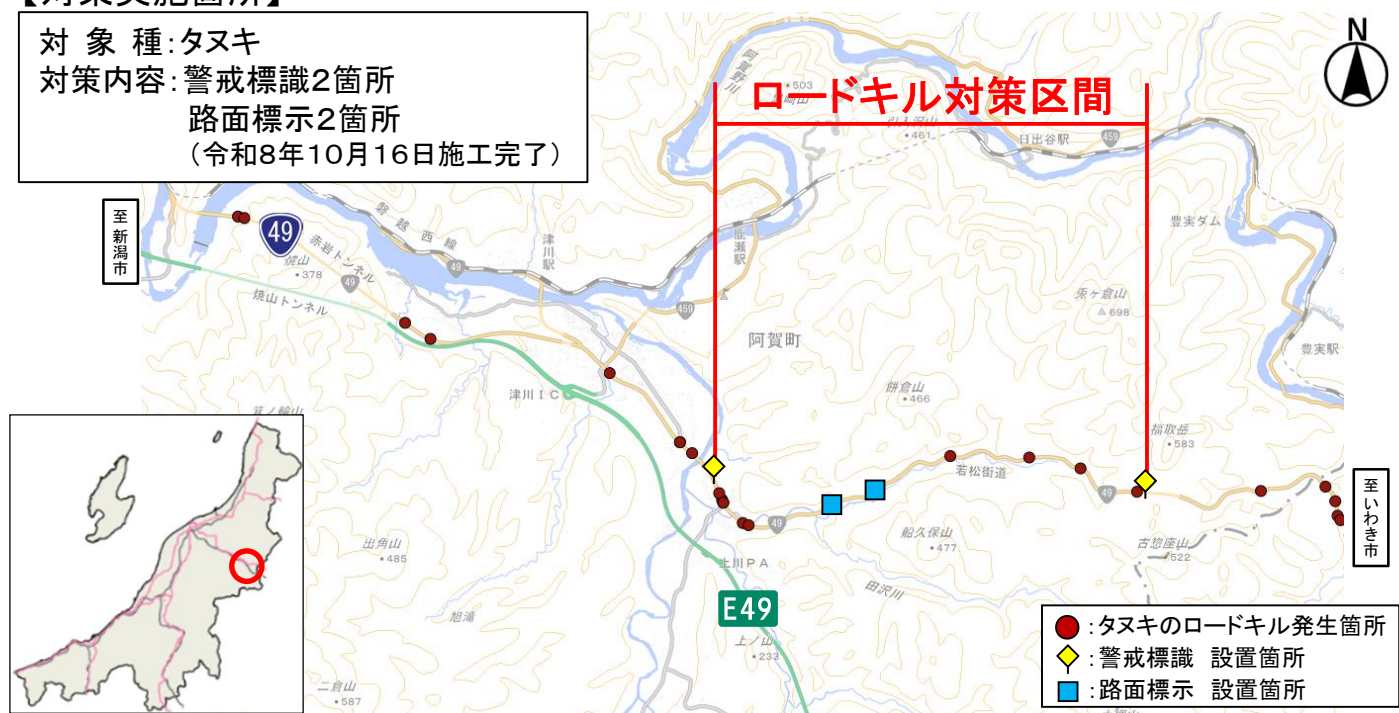
【対策実施箇所】

対象種：タヌキ

対策内容：警戒標識2箇所

路面標示2箇所

(令和8年10月16日施工完了)



※1 活用したデータベースは右記のURLにて公開しております。 URL: <https://view.xroad.mlit.go.jp/>

※2 ロードキル発生区間や時期・時間帯などのデータを活用した対策のこと

【問い合わせ先】

①データ駆動型ロードキル対策に関すること

北陸地方整備局 道路部 道路計画課

課長 吉澤 覚(よしざわ さとる) 電話:025-280-8880(代表)

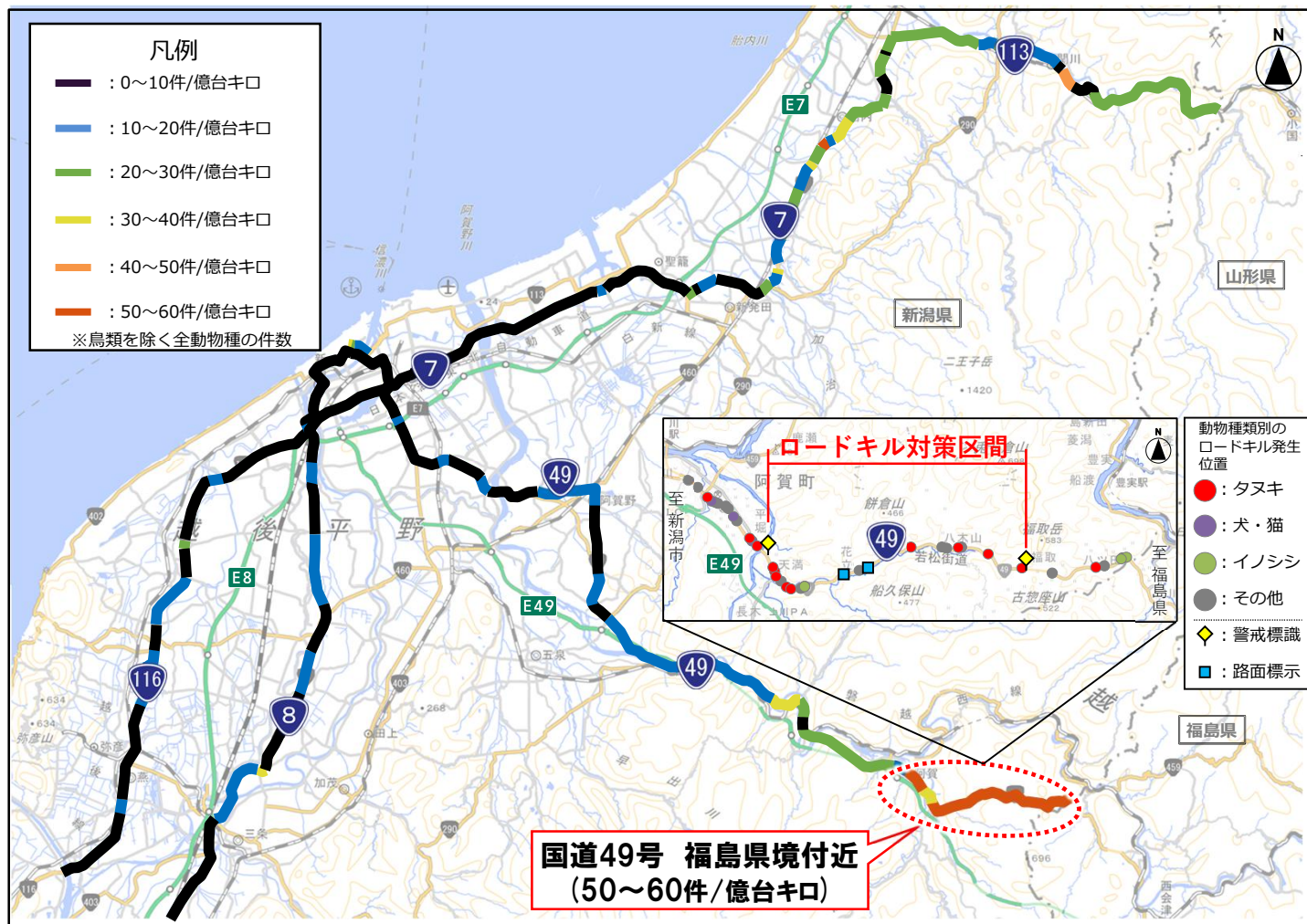
②現地での施工に関すること

北陸地方整備局 新潟国道事務所 調査課

課長 小越 千春(おごえ ちはる) 電話:025-244-2159(代表)

走行台キロ※あたりロードキル件数(令和2年～令和6年)

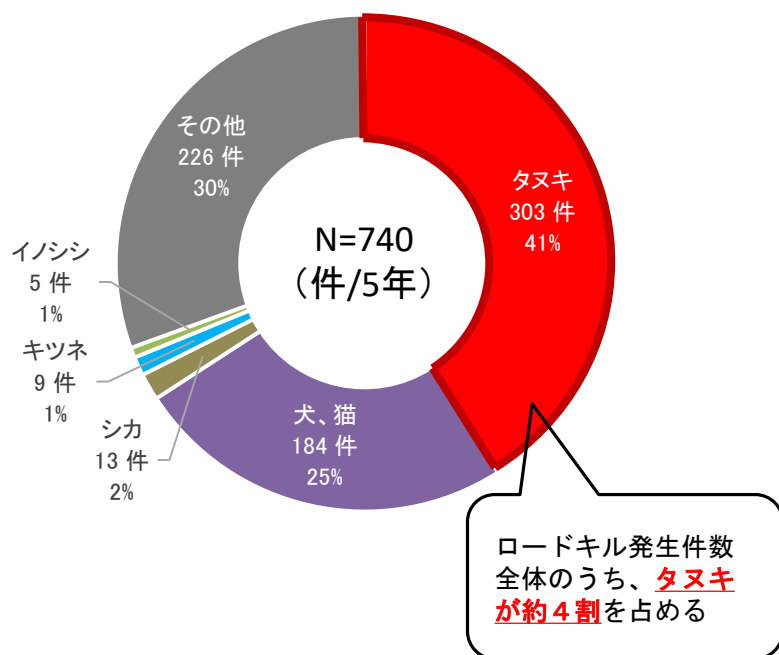
※走行台キロ
当該区間の「交通量(台)」と「距離(キロ)」を乗じたもの



動物種類別 ロードキル発生状況 (令和2年～令和6年)

対策実施状況

<新潟国道事務所管内>



R7. 6

道路分野のネイチャーポジティブの今後の方向性の策定
～交通ルールが分からない動物たちに対してドライバーが救う～

- 「ドライバーから動物に」アプローチ
- 新たにデータ駆動型のロードキル対策



R7. 10

モデル地区でデータ駆動型ロードキル対策の先行実施（北海道・沖縄）

- ロードキル多発区間・時間帯を特定し、路面標示や看板等による注意喚起対策を試行



R8. 3

「ロードキルデータベース」を構築し「xROAD」上で公開

- 全国の地方整備局等が保有するロードキル情報を集約し、道路データプラットフォーム（xROAD）で公開



R8年度～

データ駆動型ロードキル対策の全国展開へ

- 全国の地方整備局等において、ロードキルデータベースを活用し、選定した動物種のロードキル多発区間に対して、路面標示、標識等を活用した対策を先導的に実施
- 対策は各地方整備局等で策定する「脱炭素化推進計画」に位置づけ

データ駆動型ロードキル対策の概要

ロードキルデータベース

- ・道路管理者や環境省の持つロードキル箇所等のデータを集約
- ・xROAD※上でデータのDL、発生箇所等のマップ閲覧が可能
- ・データを活用した効果的なロードキル対策検討・実施が可能



既存対策（標識等）箇所



ロードキルデータ

データ集約・xROAD※上で公開

CSV形式等でダウンロード可能



マップで表示

データにより
箇所を特定
した対策

画面イメージ

発生日時や天候、動物種等の情報を表示

事故発生頻度の高い
ホットスポットを色付け

発生年度、動物種、対策種別毎に切替表示が可能

「ドライバーから動物」へのアプローチ

路面標示・標識・看板

- ・警戒が必要な区間を明示した警戒標識等



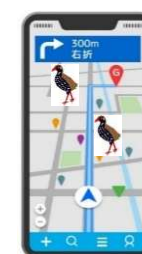
動物注意
ここから3km



その他の対策

- ・ロードキル多発区間におけるカーナビ等での注意喚起や、センサー感知式のリアルタイム注意喚起といった官民連携の取組

（♪ボーン）この先、動物の飛び出しが多い場所です。
速度を落とし、周囲の動きに注意してください。



カーナビやナビアプリによる注意喚起
※トヨタ自動車提供 ※画像はイメージです

センサー感知による事故防止